

## 平成30年度各部の重点課題の取組結果

部(局)	病院事務局
部(局)長	中川 拓也

### 【基本姿勢】

市立柏原病院では、自治体病院が担うべき地域医療の中心的な役割を果たすとともに、良質な医療の提供を安定的に行えるよう努めてまいります。また、心あるより良い医療の提供により、医療収益の向上を目指し取り組んでまいります。

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

### 【重点課題】

	重点課題	平成30年度 達成状況
1	医療提供体制の充実と患者サービスの向上	A
2	良質な医療の提供による安定した経営基盤の確立	C

部(局)	病院事務局
------	-------

<b>重点課題 1</b>	<b>医療提供体制の充実と患者サービスの向上</b>
---------------	----------------------------

全体の達成度
<b>A</b>
<b>達成</b>

目指すべき方向 (中期的な目標)	市民が必要とする安全安心な医療提供体制の構築
---------------------	------------------------

活動目標
救急診療、がん治療などの急性期医療や周産期・小児医療などの充実に努めます。
地域の医療機関及び関連大学病院との連携強化を図ります。

具体的な取組実績
休日等の救急医療体制の充実を図るため、救急内科医を1名増員しました。 平成31年1月より小児科急病診療を拡充しました。 (内容:木曜日17時～19時 → 月曜日の20時～翌8時)
平成30年6月に大阪市立大学医学部附属病院との医療機能連携協定を締結しました。 市内診療所等を訪問し、病診連携の強化に努めました。 (訪問実績:病院、診療所86件、介護施設40件)

達成目標
市民意識調査の「医療体制」の満足度を前回数値より高めます。
診療所等からの紹介率50%以上を目標とします。

達成状況	達成度
市民意識調査における満足度が0.06点上昇しました。 (平成29年度3.11点 → 平成30年度3.17点)	<b>A</b> 達成
紹介率が52.1%(平成29年度)から60%(平成31年1月末現在)に上昇しました。	<b>A</b> 達成

総合評価・総括
小児科を含む救急診療体制の充実を図る目標は概ね達成することができました。引き続き、救急診療の充実及び地域の医療機関との連携強化に努め、基幹病院としての役割を果たすための取組を進めてまいります。

部(局)	病院事務局
------	-------

重点課題 2	良質な医療の提供による安定した経営基盤の確立
--------	------------------------

全体の達成度
C
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	経常収支の均衡、資金不足額の改善
---------------------	------------------

活動目標
医業収益の増加
経費の削減

具体的な取組実績
平成30年4月から入院医療費の算定方法としてDPC方式を採用し、効率的な医療の提供に取り組みました。
委託契約方法の見直しや看護師等の派遣人員の削減等により、約1,000万円の経費削減が図ることができる見込みです。

達成目標
病床稼働率88%以上を目標とします。
医業収益に占める材料費及び経費の割合を前年度数値より抑制します。

達成状況	達成度
平成31年2月末日時点での平成30年度の病床稼働率は、75.4%と前年度を下回る見込みとなっています	D 未達成
【2月末日時点での比較】 材料費で1.3ポイントの抑制(20.5%→19.2%) 経費で0.6ポイントの抑制(17.2%→16.6%) 人件費で1.0ポイントの増加(59.0%→60.0%)	B 概ね達成

総合評価・総括
<p>病床稼働率が前年度を下回ったものの、医業収益は約7,000万円の増加が見込まれます。一方、医業費用については、材料費及び経費での抑制は図れたものの人件費等の増加により医業費用全体としては約3,700万円の増加が見込まれる状況となっています。</p> <p>目標としています経常収支の均衡を図るためには、更なる収入の増加、支出の抑制に努めなければならない状況にあります。</p>